

松尾芭蕉も賞賛、奇岩遊仙境



芭蕉が旅の途中に立ち寄った奇岩遊仙境は、平成26年に国の名勝「おくのほそ道の風景地」の1つに指定されました。

今はなき那谷城の痕跡

奇岩遊仙境の背後にはかつて那谷城があり、1338(延元3)年に北朝(足利尊氏)方の富樫高家が南朝方と戦ったことが『太平記』に記されています。

阿弥陀三尊に見える三尊石



書院の奥に広がる庭園「琉美園」。池のそばには三尊石と呼ばれる3つに分かれた自然の岩がそびえ立っています。その姿が阿弥陀三尊のように見えることから、その名が付けられました。

境内奥の深い森には、ギフチョウなどの貴重な動植物もたくさん生息しているんだって!



▲ギフチョウ (石川県・準絶滅危惧種)

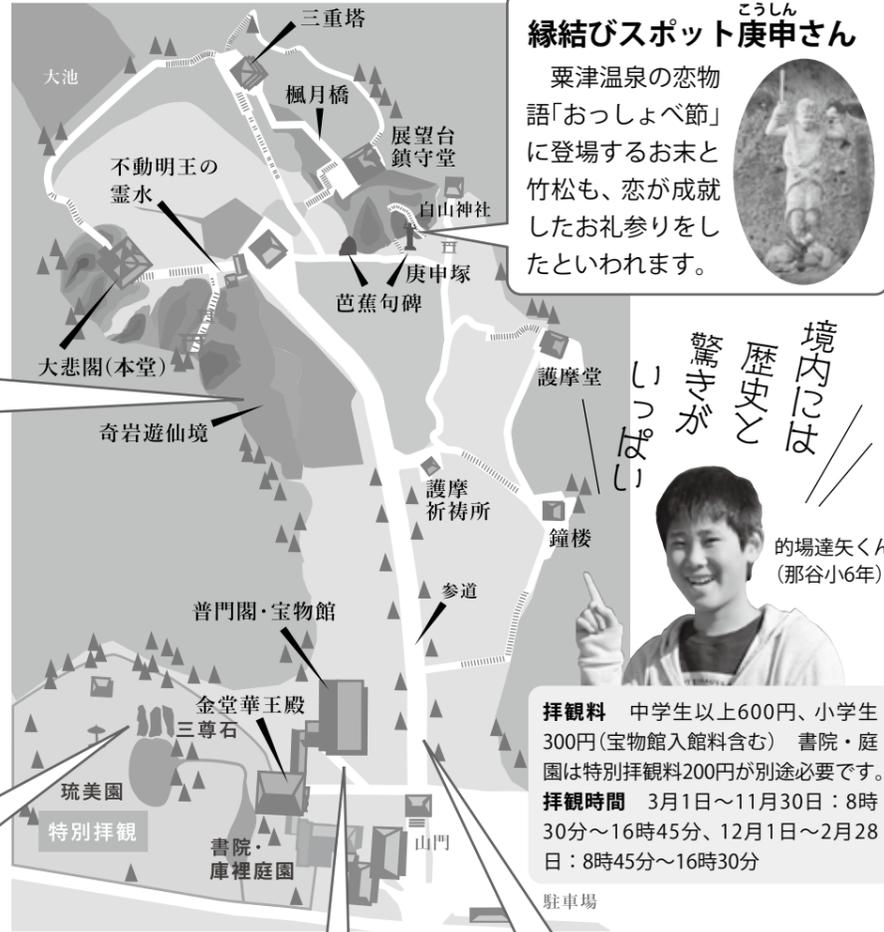


海外からも注目度アップ!

平成27年に世界的な旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で一つ星の観光地として紹介され、海外からも多くの観光客が訪れています。

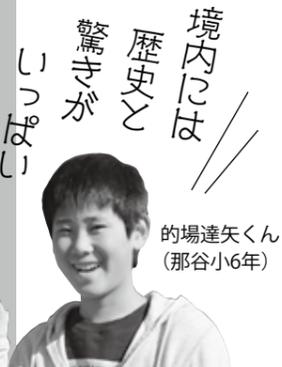


【主な出典元】「新修 小松市史」資料編4国府と荘園・資料編9 寺社(発行 小松市)、「芭蕉 おくのほそ道」(発行 岩波書店)



縁結びスポット庚申さん

粟津温泉の恋物語「おっしょべ節」に登場するお末と竹松も、恋が成就したお礼参りをしたといわれます。



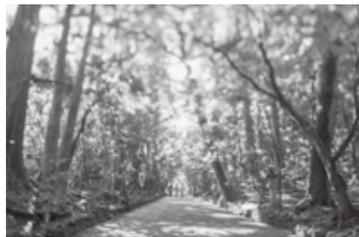
拝観料 中学生以上600円、小学生300円(宝物館入館料含む) 書院・庭園は特別拝観料200円が別途必要です。 拝観時間 3月1日~11月30日: 8時30分~16時45分、12月1日~2月28日: 8時45分~16時30分

山村から移築した普門閣



天領(幕府直轄領)だった白山麓18カ村のうち新保村で庄屋を務めた春木家の邸宅。江戸時代の終わり頃に建てられ、昭和40年に那谷寺へ移築したものです。平成28年11月に国の登録有形文化財となりました。

参道と杉並木



利常公は参道に多くの杉を植え、杉並木は約10kmあったと言われています。現在はほとんどがなくなり、境内と粟津温泉の「黄門杉」が往時をしのばせます。

本堂 大悲閣(国重要文化財)

特集 見どころいっぱい

那谷寺開創1300年

長い歴史のなか多くの人々を魅了し続け、今もなお親しまれている那谷寺。国内だけでなく海外からも注目を集めるその魅力に迫ります。

特集に関する問い合わせ 観光交流課 ☎24・8076

また、1689(元禄2)年には松尾芭蕉が参詣し、『おくのほそ道』で奇石さまさまに、古松植えならべて、蒼ぶきの小堂、岩の上に造りかけて、殊勝の土地也」とその景色をたたえ、「石山の 石より白し 秋の風」の句を詠みました。

- 710年 平城京に都が遷る
- 717年 那谷寺が開創
- 752年 東大寺大仏が完成

奈良の大仏より前に開かれたんだ!!



▲前田利常公肖像(那谷寺所蔵)

高田梨乃さん(那谷小5年)

利常公が再興し、俳聖・芭蕉も賞賛

加賀一向一揆が終わった16世紀後半、戦禍で境内は荒廃していました。その那谷寺を再興したのが加賀前田家三代の利常公でした。1640(寛永17)年、小松に隠居した利常公は、寺の荒廃ぶりを見て嘆き、直ちに再興・造営に取り掛かりました。本堂や三重塔などの建造物は、加賀藩の名工・山上善右衛門嘉廣を棟梁として建立され、現在、国の重要文化財に指定されています。

泰澄が開いた白山信仰の寺



▶泰澄大師像(粟津町)

特別な年、みんなで 那谷寺へでかけよう！

今年には記念法要をはじめ、祝いの行事が一年を通じて開かれます。また、地元的那谷町、滝ヶ原町、菩提町の皆さんが中心となり、町を盛り上げようと記念の年を祝う「なた祭」を開催していきます。食や芸能など、地域の魅力を五感で感じる行事をお楽しみください。



4月9日(日)～10月31日(火)



■本尊十一面千手観世音菩薩御開帳

秘仏の御本尊「十一面千手観世音菩薩」が安置されている厨子の扉を開く、33年に一度の法要「御開扉」が4月9日に行われます。期間中は、御本尊と繋がる観音綱に触れることで、御本尊とのご縁を得ることができます。※拝観料が必要です(料金は3ページ参照)。



▲厨子が安置されている本殿

4月9日(日)



▼スイーツ
ごま豆腐

■朝市・奉納芸能祭

野菜や山菜、地元食材を使った加工品、工芸品などを揃えた朝市です。加賀鷲や那谷獅子舞、太鼓などの郷土芸能を披露します。

時間 8時30分～(10時30分終了予定)

ところ 門前広場

■御柱立柱祭

昨年、白山麓から切り出した2本のご神木を、大鳥居として山門前に立ち上げます。

時間 10時～(11時30分終了予定)

ところ 門前広場

地元のお米で作った1300年記念紅白おにぎりをご堪能ください。



▶生水豊樹さん、由加里さん(那谷町)

石の文化や宝物もぜひお楽しみください！

那谷では、古くから瑪瑙やアメジスト(紫水晶)などが産出しています。周防国(現在の山口県東部)を本拠に日明貿易を独占していた戦国大名・大内義隆が、明国への献上品として那谷寺の瑪瑙を求めたとの記録があります。

境内には、奇岩遊仙境や三尊石、碧玉や瑪瑙の庭石がある庫裡庭園など、石の文化スポットとしても見どころがいっぱいです。また、門前には滝ヶ原の石で造られた庭園や大杉産の石で造った石橋が新たに整備されました。

ほかにも、宝物館では利常公ゆかりの茶道具や天平時代以降の仏教美術品などを展示しており、今回は季節ごとの特別展も開催予定です。石の文化や貴重な宝物などもお楽しみください。



◀様々な石が配された庫裡庭園

6月開催

■初公開！秘宝特別展

上杉家から前田家に贈られたとされる上杉謙信の琴や、豊臣秀吉から千利休に贈られた茶釜などの所蔵品を公開します。

ところ 宝物館(普門閣)

▶秀吉から贈られた「さるの釜」



珠玉と歩む物語
こまつ
日本遺産

4月23日(日)

■記念式典

那谷町出身の小説家、陣出達朗さん原作の時代劇「遠山の金さん」で主役を務めた俳優の松平健さんが、遠山桜記念植樹などにゲストとして参加します。

時間 10時～11時30分

ところ 那谷寺駐車場奥の特設会場

拝観料は
終日無料



▲松平健さん

■開創一千三百年御開帳法要

高野山管長を迎え、開創及び御開帳を祝う法要が行われます。

時間 13時30分～15時

ところ 門前広場→金堂

■稚児行列・餅まき

利常公役の松平健さんを先頭に、稚児行列や餅まきを行います。

時間 稚児行列：13時～14時

餅まき：15時30分～

ところ 稚児行列：那谷町会館→

金堂 餅まき：門前広場

4月23日は交通規制のため、那谷町内に車で入ることができません。近隣の臨時駐車場からのシャトルバスをご利用ください(臨時駐車場、バスともに無料)。

詳細は那谷寺ホームページをご確認ください。



4月22日(土)～30日(日)

■春のライトアップ

金沢学院大学の協力で、夜の奇岩遊仙境に鮮やかな光で幻想的な世界を創り出します。

時間 19時～21時(受付は20時30分まで)

ところ 境内

入場料 中学生以上500円、小学生300円



▲金沢学院大学芸術部の皆さん

4月30日(日)

■白山開山一千三百年神式大祭

白山比咩神社による神式大祭において、雅楽や巫女行列が行われます。

時間 13時～

ところ 境内

■霊峰白山 恵み市

白山のグルメが堪能できます。

時間 13時～

ところ 門前広場

拝観料は
13時より
無料



1300年の魅力が詰まった那谷寺！
ぜひ、みんなで足を運んでね！

皆さんのお陰で、今年大きな節目の年を迎えることができました。那谷寺の豊かな自然や文化を、これからも多くの方にじかに感じていただければと思います。時代を越えて大勢の人が交流する小松。その一助になれば幸いです。



那谷寺
住職 木崎馨山さん

四季折々の魅力が楽しめる北陸の古刹

春の桜、鮮やかな苔や新緑の夏、紅葉の秋、北陸ならではの雪化粧の冬と四季を通じて様々な趣が楽しめる那谷寺。平成28年は約16万人(平成25年、約13万人)が訪れ、海外からの観光客も増加しており、北陸の際立った「国際都市こまつ」の交流拠点として注目度が高まっています。1300年の節目の年、小松に暮らす私達もこの魅力に触れ、多くの人達に小松のすばらしさを発信していきます。